

平成26年度 課の事業一覧

組織名	建設局 総務課	重点項目	局内の連絡調整、予算及び決算に関する事務を適正に行う。						
課長名	古田 直子	コスト	事業費	26年度当初予算額	人件費	目安の金額	課長	1	人
				3,667,308 千円		99,000 千円	係長	2	人
							職員	9	人

主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
	土木職員費	土木職員費	職員給	—	—
	西部整備事務所(コミンティ)管理経費	西部整備事務所に係る管理経費	庁舎管理	—	—
	研究集会等参加事業	人権研修等各種研修参加に要する経費	その他	—	—
	建設総務一般	総務及び用地管理に係る一般事務経費			
	土地取得特別会計繰出金	土地取得特別会計への繰出金			

平成26年度 課の事業一覧

組織名	建設局 管理課	重点項目	道路の適正管理						
課長名	山本 達也	コスト	事業費	26年度当初予算額	人件費	目安の金額	課長	1	人
				595,877 千円		119,000 千円	係長	4	人

主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
	施設維持管理事業 (総務部管理課指定管理)	河内サイクリングセンター施設運営の指定管理者委託分	サイクリングセンターの維持管理	2箇所あるサイクリングセンターのうち、利用者が著しく減少している道原サイクリングセンターの運営を見直す必要がある。	道原サイクリングセンターの貸出し業務を終了する。
	施設維持管理事業 (総務部管理課)	河内サイクリングセンターの施設運営及び維持管理経費			
	放置自転車対策事業 (指定管理)	「市立自転車駐車場」の管理運営業務に係る指定管理業務委託料	放置自転車対策	—	—
	放置自転車対策事業	駐輪指導、放置自転車の撤去・保管等、放置自転車対策に係る経費		効率的な駐輪指導	放置自転車の状況を踏まえながら、比較的放置自転車が少ない時間帯における巡回時間を見直す。
	道路台帳整備	市の管理する道路の台帳図、調書を整備し保管する業務	道路台帳の整備	—	—
	道路不法占用物件除却事業	道路交通の安全及び良好な景観を形成する上で支障となっている不法占用物件を除却し、道路利用の適正化を図るとともに、安全で快適な道路環境を保持するもの	道路不法占用物件の除却	効率的な不法占用物件への指導	警察と連携した指導を検討
	屋外広告物規制事務	屋外広告物法及び条例に基づき、まちの良好な景観を形成し、若しくは風致を維持し、公衆に対する危害を防止するため、広告物の掲出方法・維持管理等について、規制・指導を行うもの	屋外広告物の規制	申請率の向上	実態調査等を行い、適正な屋外広告物行政に取り組む。
	道路管理システム	道路占用管理業務をコンピュータ処理することにより、占用許可業務の合理化、道路工事調整業務の迅速化及び事故防止対策の徹底、その他道路及び占用物件管理業務の高度化を図るもの	道路占用管理業務	—	—
	土木管理一般	道路管理事務に係る一般事務経費	その他	—	—

平成26年度 課の事業一覧

組織名	建設局 事業調整課	重点項目	<ul style="list-style-type: none"> 建設局各部および各区まちづくり整備課の連携を促進し、事務の効率化を図る。 地籍調査事業を計画に基づき着実に進めていく。 						
課長名	岩下 和弘	コスト	事業費	26年度当初予算額 81,046 千円	人件費	目安の金額 76,500 千円	課長 1 人	係長 2 人	職員 6 人

主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
	(新)GIS活用業務改善システム導入	平成25年10月22日に、全庁GISが導入された。このシステムを活用し建設局および各区まちづくり整備課の事務の効率化及び経費削減に取り組む。	GIS活用による業務改善	工事などの書類情報をデータ化し、共有することで、更なる業務の効率化を図る	平成25年10月22日に導入された全庁GISを活用し、建設局および各区まちづくり整備課の事務の効率化及び経費削減に取り組むもの
	地籍調査事業	国土調査法に基づき実施される事業で、北九州市内の土地について、一筆毎の所在・筆界・面積等を調査し行政の効率化と併せて道水路等の境界区域を明確化するもの。	境界区域確定等の地籍調査	—	—

平成26年度 課の事業一覧

組織名	建設局 道路計画課	重点項目	真に必要な都市基盤の着実な整備や都心・副都心などの魅力向上を図るべく、物流ネットワークの強化や小倉・黒崎のにぎわいに資する道路環境の整備を推進するとともに、通学路の安全対策やアンダーパスの事故防止対策、橋梁やトンネルの長寿命化に取り組む。さらに、区役所による地域主体のまちづくり整備では、歩行空間のバリアフリー化の推進や市民に身近な道路の環境整備を着実に実施する。				
課長名	橋口 基	コスト	事業費	26年度当初予算額 21,687,312 千円	人件費	目安の金額 131,500 千円	課長 1 人 係長 3 人 職員 12 人

主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
	東九州自動車道等整備促進経費	東九州自動車道建設促進協議会および国道3号黒崎バイパス建設促進期成会に係る経費である。	東九州自動車道等の整備促進	東九州地域のアクセス強化、および、黒崎地区の交通渋滞の緩和	東九州地域間の交流促進や空港アクセス機能強化や、黒崎地区の渋滞緩和による物流の効率化を図るため、協議会を通じ積極的に働きかける。
○	トンネル長寿命化事業	トンネルの点検、補修を行い、トンネルの長寿命化対策を実施するもの。	舗装補修や橋梁補修、トンネル改修等の道路維持	-	-
○	防災・安全交付金(道路維持)	道路舗装等の道路施設の補修を実施するもの。			
○	単独事業(道路維持)	道路舗装等の道路施設の補修を実施するもの。			
	掘さく復旧	道路占用者が道路を掘削した区域の舗装等を復旧する経費。			
	にぎわいの都市づくり(道路維持)	主に都心副都心および主要駅周辺のエスカレーター・エレベーター等の適切な維持管理を行うもの。			
	市民による地域のまちづくり整備事業(道路維持)	区役所において、市民主体によるまちづくりを行うため、市民要望を区長判断で実施する経費。			
○	道路サポーター事業	道路の清掃や花壇の手入れなどを行う地域団体の活動を支援し、道路の美化へとつなげていくもの。	地域団体との協働による道路美化	道路を良好な環境に保つための道路維持	市民と行政の協働による道路の美化清掃、道路異常箇所の通報などの活動により、良好な道路環境の維持につなげていく。

主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
	道路一般維持	生活道路等の維持管理を実施するための経費。	道路の維持管理	—	—
	道路管理施設維持	市民にとって身近な駅前広場や道路照明灯などを維持管理するための経費。			
○	社会資本整備総合交付金 (道路改築)(債務負担)	国道や地方道の道路新設改良を行うもの。	新設改良を行う道路の整備	—	—
○	社会資本整備総合交付金 (道路改築)	国道や地方道の道路新設改良を行うもの。			
○	防災・安全交付金(道路改築)	国道や地方道の道路新設改良を行うもの。			
○	単独事業(道路改築)	国道や地方道の道路新設改良を行うもの。			
○	国直轄事業負担金	国が実施する道路新設改良事業等に係る経費を一部負担するもの。			

主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
	防災・安全交付金(交通安全)(債務負担)	交通安全施設等整備事業を行うもの。	交通安全施設等の整備	—	—
○	防災・安全交付金(交通安全)	交通安全施設等整備事業を行うもの。			
○	通学路の安全対策の推進	交通安全施設等整備事業のうち、通学路の交通安全対策を実施するもの。			
○	都市再生整備計画(交通安全)	八幡病院移転に伴う周辺道路のバリアフリー化や交通安全対策を行うもの。			
○	単独事業(交通安全)	交通安全施設等整備事業を行うもの。			
○	都市再生整備計画(道路景観)	小倉都心地区および黒崎副都心地区にふさわしい都市空間を整備するもの。	景観に配慮した道路の整備	—	—
○	単独事業(道路景観)	美しき環境未来都市を支える道路整備を行うもの。			

主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
○	通常補助(街路)	戸畑枝光線(枝光～牧山)の都市計画道路の整備を行うもの。	都市計画道路等の整備	—	—
○	社会資本整備総合交付金(街路)(債務負担)	国道や地方道の都市計画道路の整備等を行うもの。			
○	社会資本整備総合交付金(街路)	国道や地方道の都市計画道路の整備等を行うもの。			
○	防災・安全交付金(街路)	国道や地方道の都市計画道路の整備等を行うもの。			
○	都市再生整備計画(街路)(債務負担)	都市再生整備計画における都市計画道路等の整備を行うもの。			
○	都市再生整備計画(街路)	都市再生整備計画における都市計画道路等の整備を行うもの。			
○	単独事業(街路)	国道や地方道の都市計画道路の整備等を行うもの。			

平成26年度 課の事業一覧

組織名	建設局 水環境課	重点項目	○安全・安心に資する河川改修事業については、着実に事業の進捗を図る ○河川の整備にあたっては、河川環境を保全するとともに、その個性を活かした川づくりを進める				
課長名	田口 裕一郎	コスト	事業費	26年度当初予算額 2,425,482 千円	人件費	目安の金額 119,000 千円	課長 1 人
							係長 4 人
							職員 9 人

主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
○	水害から市民を守る河川緊急整備事業(防災・安全交付金)	平成21年22年豪雨により溢水した被害発生河川について、緊急的に対策工事を行うもの	治水対策等の河川整備	-	-
○	防災・安全交付金(河川)(債務負担)	紫川(MM区間)の河川改修に伴う、JR鉄道橋の軌道切替補償のための債務負担			
	(新)河川管理施設等更新事業	更新時期を迎える河川管理施設等を適切に更新するための経費			
○	防災・安全交付金(河川)	市内を流れる一・二級河川について、管理者である県と協議のうえ改修を行うもの			
	都市再生整備計画(河川)	河川管理道に照明を設置する等、中心市街地の活性化に資する事業を行うもの			
○	河川改良(単独)	河川の溢水による浸水被害を防ぐため、護岸の整備などを行うもの			
	市民による地域のまちづくり整備事業(河川)	各区まちづくり整備課において、市民要望を反映した身近なまちづくりの環境整備を行うもの			
	急傾斜地崩壊防止事業	県が指定する土砂災害警戒区域の情報を防災情報マップに追加し、市民に周知するもの	急傾斜地の崩壊による被害の軽減	-	-

主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
	にぎわいの都市づくり(河川)	紫川周辺の河川環境の向上および、街のにぎわいに資する水辺の活用、周辺設備の充実を図るもの	イベント支援、除草・清掃等による河川愛護の啓発および水辺の活用	当初の目的を達成したと思われるものなど、イベントの見直しが必要	一部のイベントを廃止を含め見直す
	河川環境啓発推進事業	河川愛護団体間の交流促進事業、河川事業のPR、川についての知識や技術をもった「水先案内人」の育成などを行うもの			
	水環境館維持管理(指定管理)	「水環境館」の管理運営業務に係る指定管理業務委託料	水環境館の維持管理	開館時間の見直しが必要	隣接する商業施設の閉館時間に合わせ、水環境館の閉館時間を現在の20時から19時に見直す。
	水環境館維持管理	機器修繕費等、水環境館の維持管理経費		—	—
	ほたる館維持管理(指定管理)	「北九州市ほたる館」の管理運営業務に係る指定管理業務委託料	ほたる館の維持管理	—	—
	ほたる館維持管理	「北九州市ほたる館」および「香月・黒川ほたる館」の維持管理経費			
	ほたるのふるさとづくり	ほたる愛護団体への補助、地域における環境保全活動の指導者を育成する「ほたる塾」の開催費など	ホタル保護育成活動の支援	50周年記念事業としてホタル関連イベント2件を実施	50周年記念事業の終了
	河川台帳整備事業	河川及び水路の管理のため、その台帳等を整備するもの	河川の維持管理	—	—
	河川管理権限委譲	一・二級河川について、県からの河川管理権限の委譲について必要な協議を行うための経費			
○	河川維持事業	河川・水路の草刈、浚渫、護岸修繕工事等に要する経費および河川愛護団体補助金			
	河川管理一般	河川賠償責任保険料、河川情報システムの通信料など、河川管理に必要な経費			
	排水機場等維持管理事業	排水機場並びに防潮水門等の施設を適切に維持管理し、施設の正常な運転を行うための経費			

平成26年度 課の事業一覧

組織名	建設局 緑政課	重点項目	・安全性や防犯に配慮した公園づくりを推進する。(老朽化した公園施設の改修、公園内の樹木撤去・剪定による見通しの確保) ・スポーツレクリエーション施設の改修を行う。(北九州市民球場の内野指定席改修)				
課長名	千々和 秀二	コスト	事業費	26年度当初予算額 2,246,539 千円	人件費	目安の金額 101,500 千円	課長 1 人 係長 3 人 職員 8 人

主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
○	(新)防災・防犯に配慮した公園づくり事業	市民が安全に公園を利用できるように、公園内の樹木の剪定、撤去し、見通しの確保を行うもの	犯罪防止のための公園整備	周辺から見通しのわるい公園の安全性の確保	犯罪の多い校区を中心に公園内の樹木の剪定、撤去を行う。
	八幡東田グリーングリッド事業(公園)(都市再生整備計画)	八幡東田地区において、低炭素まちづくりに配慮した緑化を行うもの	都市公園、霊園等の整備	-	-
	(新)北九州市民球場観覧席改修事業	市民や野球関係者から要望のある老朽化した内野指定席の改修を行うもの			
○	社会資本整備総合交付金(公園)	都市公園の整備・改修を行うもの			
	防災・安全交付金(公園)	都市公園の整備・改修を行うもの			
○	都市再生整備計画(公園)	都市再生整備計画における都市公園の整備・改修を行うもの			
○	公園緑地事業(単独)	都市公園の整備・改修を行うもの			
	霊園整備事業	霊園の園路改修や樹木整理を行うもの			
	市民による地域のまちづくり整備事業(公園)	市民等の要望に応じて、公園の改修等を行うもの			

主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
	水と緑の基金積立金	水と緑の基金の運用益、寄付金を積み立てるもの	水と緑の基金への積立	—	—
	到津の森公園希少動物の保護、導入事業	マダガスカル共和国と本市が共同で、希少動物の繁殖プロジェクトと教育プロジェクトを実施するもの	希少動物の保護・繁殖、到津の森公園の自然環境教育機能の向上等	—	—
○	花と緑のまちづくり推進	市民花壇、公共花壇などの整備や都市緑化に関する普及啓発事業を行うもの	市民花壇、公共花壇等の整備、都市緑化に関する普及啓発	効果の検証を行い、事業の見直しを図る	市民による花と緑のまちづくりが進んでいることから、花と緑の普及啓発事業のうち、花苗配布事業を廃止する
	菜園などの地域コミュニティ活性化に資する公園活用事業	高齢者の健康づくりや世代間交流の場となる「地域菜園」や「花壇」など、地域のニーズに応じた整備を行うもの	地域コミュニティ活性化のための公園整備	利用頻度の少ない公園が増加している	地域菜園や花壇等、それぞれの地域ニーズに応じた整備により、公園利用者の増加を図る
	大都市公園機能実態調査	国土交通省、大都市(21市)、(社)日本公園緑地協会の3者により、大都市が抱える課題の共同調査を行うもの	公園機能の調査	公園機能について様々な課題が存在する	大都市が抱える様々な課題について共同調査を行い、情報の共有化を図る
	水と緑の街づくり事業	水と緑の基金を原資とし、民有地緑化助成事業、保存樹診断事業を行うもの	都市緑化の推進	都市環境と景観の向上を図る	緑化助成により民間緑化を推進する

平成26年度 課の事業一覧

組織名	建設局 公園管理課	重点項目	・指定管理業務の見直し(響灘緑地、平尾台自然の郷、山田緑地、到津の森公園・ひびき動物ワールド)				
課長名	菊山 修一	コスト	事業費	26年度当初予算額 2,595,377 千円	人件費	目安の金額 98,000 千円	課長 2 人 係長 3 人 職員 6 人

主要	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容
	有料施設等管理委託(指定管理)	「響灘緑地」、「平尾台自然の郷」、「山田緑地」、「到津の森公園・ひびき動物ワールド」、「白野江植物公園」、「志井ファミリープール」の管理運営業務に係る指定管理業務委託料	有料施設等の維持管理	利用頻度の低い施設がある	老朽化や代替施設の設置等により、利用者数が減少した施設について、廃止や管理水準の見直しを行う
	有料施設等管理委託	市立霊園に係る管理運営経費 及び 有料公園施設の備品購入経費		—	—
	到津の森公園基金積立事業	到津の森公園基金積立事業	到津の森公園基金への積立	—	—
	到津の森公園動物導入事業	アムールトラ導入事業	到津の森公園の展示動物の充実	—	—
	動物サポーター事業	到津の森公園における飼育動物のエサの調達及び寄付者への特典発行や管理に関する業務	市民等の寄付による動物サポーター制度の管理	寄付額の逡減による事業費の不足	経費の見直しによる事業費削減 支援自販機設置等による寄付額増加策の実施
○	公園管理活性化事業	公園愛護会事業及びホームレス対策事業	公園等の維持管理	—	—
	公園等維持管理事業	市内全域公園等の維持管理事業			
	公園等一般管理(維持&内部管理)	市内無料公園の維持管理事業			
	自然保護管理	風致地区、特別緑地地区、自然公園等の維持管理事業			
	市立霊園使用促進業務	市立霊園有効利用のための未使用区画及び無縁墳墓調査等整理事業	未使用区画等の整理による霊園の有効利用	使用許可者の存否が不明	墓地埋葬等に関する法律の手続きにより、看板設置、官報公告し、使用許可取り消しを行う